

大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム中期計画と 東京経営短期大学経営計画との連動について

東京経営短期大学は大学コンソーシアム市川を構成する大学として、同コンソーシアムの中期計画の計画遂行に関わることが求められている。そのため、大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム（以下市川PF）中期計画の取組目標に連動して、その取組目標に対する活動指標に対応すべく、東京経営短期大学の個別の活動指標等を次のように定めている。

【市川PFの取組と活動指標及び本学の活動指標】

市川PFの取組	市川PFの活動指標	本学の活動指標
① 経営マインドを持ち地域活性化に貢献する人材の育成	経営関連科目を含める形で 2019 年度には 40 科目、2023 年度までに 50 科目以上の単位互換制度	経営関連科目を含める形で 2019 年度には 12 科目、2023 年度までに 15 科目以上の単位互換制度
	2023 年度までに、「市川学 A～ D」を通じて、地域活性化に貢献する人材をのべ 100 人以上育成する。	2023 年度までに、「市川学 A～ D」を通じて、地域活性化に貢献する人材をのべ 10 人以上育成する。
② ゆとりある子育て環境の実現と人材の育成	昭和学院短期大学の子育て支援センターなどを通じて、子育て環境を知る学習を複数大学間で展開させていく。	本学の保育実習室や昭和学院短期大学の子育て支援センターなどを通じて、子育て環境を知る学習を複数大学間で展開させていく。
	200 名以上の学生に市川市を中心とする地域での就職機会を提供し、地元就職率の向上を図る。	市川市を中心に周辺地域での就職機会を 10 名以上の学生に提供し、地元就職率の向上を図る。
③ 少子高齢化社会に対応できる地域医療・福祉	医療・看護・福祉関連科目を含める形で 2019 年度には 40 科目、2023 年度までに 80 科目以上の単位互換制度	医療・看護・福祉関連科目を含める形で 2019 年度には 12 科目、2023 年度までに 15 科目以上の単位互換制度
	2023 年度までに「市川学 A～ D」を通じて、市川で進行する少子高齢化社会に対応できる人材をのべ 100 人以上育成する。	2023 年度までに「市川学 A～ D」を通じて、市川で進行する少子高齢化社会に対応できる人材をのべ 10 人以上育成する。
④ 現代社会のニーズにあった都市型ビジネスの展開	スポーツビジネスやブライダルビジネス、コミュニティビジネスなど都市型ビジネス関連科目を含める形で 2019 年度には 40 科目、2023 年度までに 80 科目以上の単位互換制度	スポーツビジネスやブライダルビジネス、コミュニティビジネスなど都市型ビジネス関連科目を含める形で 2019 年度には 12 科目、2023 年度までに 15 科目以上の単位互換制度
	2023 年度までに「市川学 A～ D」を通じて、市川市の現状を踏まえたコミュニティビジネスや、スポーツビジネス・ブライダル産業等都市型ビジネスに貢献する人材、「地域つながり力」を持った人材をのべ 200 人以上育成する。	2023 年度までに「市川学 A～ D」を通じて、市川市の現状を踏まえたコミュニティビジネスや、スポーツビジネス・ブライダル産業等都市型ビジネスに貢献する人材、「地域つながり力」を持った人材をのべ 10 人以上育成する。
⑤ 在留外国人の増加に対応した地域づくりと国際化への対応	市川の地元の伝統産業や伝統芸能を伝承している地域住民を講師に招き、在留外国人にも参加を呼びかけて交流をはかる。	市川の地元の伝統産業や伝統芸能を伝承している地域住民を講師に招き、本学の留学生の他に在留外国人にも参加を呼びかけて交流をはかる。
	CUC International Square 等の施設を	CUC International Square 等の施設を

		通じ、毎年 5,000 人以上の利用者に体験型学習機会を提供する。	利用させていただき、2023 年までにのべ 20 名以上国際化に対応できる人材を育成する。
		各大学の留学生・教職員等の人的資源を利活用し、市の配布物や標識の多言語化(特にベトナム語)への協力を行う。	本学の留学生・教職員等の人的資源を利活用し、市の配布物や標識の多言語化(特にベトナム語)への協力を積極的に行う。
⑥	自然エネルギーの活用・資源サイクルと SDGS への貢献	自然エネルギーの活用・資源リサイクルについて、市川市と協議を開始し、大学コンソーシアム市川が果たす役割を明確にする。	協議に参加し、大学コンソーシアム市川が果たす役割を理解し、本学が貢献できる可能性を模索する。
		2023 年までにのべ 400 名以上の SDGS に詳しい学生を地域社会に送り出す。	—
⑦	地域コミュニティの再生と都市的無関心への対応の立案・実施	「市川学 A~D」の中で、市川の伝統産業や伝統芸能を伝承している地域住民を講師に招き、学生と市川市の住民との交流会を年 2 回以上提供する。	「市川学 A~D」の中で、市川の伝統産業や伝統芸能を伝承している地域住民を講師に招き、学生と市川市の住民との交流会に年 2 回以上参加する。
		高齢者に IT 機器の操作や SNS の活用を教える講座を開く。	高齢者に IT 機器の操作や SNS の活用を教える講座を開く。
⑧	人生 100 年時代に向けた生涯学習への対応	「いちかわ市民アカデミー講座」をさらに発展させ、年間 30 回以上の市民向け講座を開催し、市川市民の生涯学習に対応していく。	「いちかわ市民アカデミー講座」に一講座以上、本学の教員を派遣する。また、本学の独自の教育講演会等を 5 大学の教職員等にも開放すると共に、市川市民の生涯学習にも対応していく。
⑨	地域文化資産の利活用に向けた協働	「市川学 A~D」において市川市の自然・歴史について理解を深め、地域文化の活性化に貢献する人材を 2023 年度までにのべ 200 人以上育成する。	「市川学 A~D」において市川市の自然・歴史について理解を深め、地域文化の活性化に貢献する人材を 2023 年度までにのべ 10 人以上育成する。
		市民活動団体が主催する各種の地域文化イベントに学生を派遣し、協働活動させることで、地域文化に詳しい学生を育成する。	市民活動団体が主催する各種の地域文化イベントに学生を派遣し、協働活動させることで、地域文化に詳しい学生を育成する。
		地域文化資産の利活用に向けた共同研究プロジェクトを毎年 1 件以上新たに立ち上げ、地域文化の掘り起こしを行う。	—
⑩	都市型災害に強い地域づくりと災害時の相互連携	市川市国府台地区で開催される共同防災訓練に 5 大学が年 1 回以上参加して実施する。	学生・教職員が共同防災訓練に参加する。
		大学コンソーシアム市川に所属する各大学の防災備蓄品の実態を把握し、共同購入の可能性を検討する。(検討部会年 2 回以上実施)	大学コンソーシアム市川に所属する各大学の防災備蓄品の実態を把握し、共同購入の可能性を検討する。(検討部会年 2 回以上実施)
		地域住民向けに行われている「災害危機管理講座」の取り組みを大学コンソーシアム市川にも広げて、同講座の更なる活用を図る。	本学のオムニバス授業「環境と生活」の中で、「災害危機管理講座」を年 1 回実施することで、同講座の更なる活用を図る。
⑪	都市部女性のキ	女性起業家を一つのモデルとしてキャ	女性起業家を一つのモデルとしてキャ

	キャリアパス構築支援	リアパス構築の支援事業にのべ 100 名以上の参加学生を募集する。	リアパス構築の支援事業に毎年 5 名以上の参加学生を募集する。
⑫	地域つながり力の素質をもった優秀な学生の確保	市川市教育委員会、千葉商科大学付属高校、和洋国府台女子高校、国府台高校、市川第一中学校、国府台小学校、筑波大学附属聴覚特別支援学校の関係者による協議会を年 1 回以上実施する。	本学の教職員 1 名以上が協議会に出席する。二俣小学校・妙典小学校等の異文化交流授業を通じて、地域つながり力の資質育成を支援する。2019 年度は、二俣小学校における金融教育も支援する。
		プラットフォーム形成大学・短期大学共同のニーズを調査する。各大学の 3 月期～6 月期に開催されるオープンキャンパス来場保護者に対してアンケートを実施する。	オープンキャンパス来場保護者に対してアンケートを実施する。
		プラットフォーム形成大学・短期大学共同の高校訪問を実施する。2019 年度中に市川市内にある高校 14 校の内、10 校以上を目標に共同の高校訪問を実施する。	2019 年度中に市川市内にある高校 14 校の内、2 校以上を目標に共同の高校訪問を実施する。
		大学コンソーシアム市川のパンフレットを作成し、学生募集活動を通じて配布し、認知度を高める。	学生募集活動を通じて、大学コンソーシアム市川のパンフレットを配布し、認知度を高める。
		「キッズビジネスタウン®いちかわ」を毎年開催し、プラットフォーム形成大学・短期大学の教職員・学生がスタッフとして参加し、2023 年度までにのべ 3,000 人以上の児童に対して教育活動支援を行う。	毎年開催される「キッズビジネスタウン®いちかわ」に、2019 年度以降、毎年 10 名以上の学生と 1 名以上の教職員がスタッフとして参加する。

取り組み参加率 91.7% (11/12)

指標設定率 92.8% (26/28)

【アウトカム目標】

上記の取組目標・活動指標を通じて実施した成果を計るため、2つのアウトカム目標を設定する。

区分	市川 PF のアウトカム目標	本学のアウトカム目標
① 平均学生満足度	3.5 以上 (卒業時に 5 段階で)	3.7 以上 (卒業時に 5 段階で)
② 千葉県内就職率	15%以上	37%以上